

# 大人のチカラ

～子どもたちの未来のために～

24

## 家庭教育推進専門員による ワークショップのすすめ③

### 親同士が学び 家庭教育の基盤を作る

**家** 庭教育ワークショップのコンセプトは「親同士が学び、気づき合う」こと。そこから見えてくる家庭教育の基盤とは。香川県におけるワークショップ推進の第一人者・清國祐二教授にうかがいました。

#### 育てよう、大人の コミュニケーションカ

常に変化する現代社会において大切なのは、周囲と情報を共有し、良好な関係を築く力。その基本となる

のが、相手とのやり取りです。県内でのワークショップ推進に携わる香川大学生涯学習教育研究センター長・清國祐二教授は「自らの発言を行動に移す、周囲の意

見を尊重するといったコミュニケーションが、ワークショップでは自然と生まれる」と話します。まずは、家庭で教育する立場の大人がコミュニケーション力を身に付けることが必要です。また、家庭教育を支援するリーダー・家庭教育推進専門員を育成し、ワークショップというツールを使ってもらうことで、保護者から自然な気付きを引き出せると言います。「周囲の考え方を知る」という点では、ワークショップが常識的な判断を確認し合う場にもなります。

必要なく大人のチカラを養う場なのです。PTAとの連携と向上心ある専門員

#### ワークショップを開きたい!

##### ●実施内容

- ・時間／1回約60分
- ・費用／無料
- ・参加人数／10人～
- ・会場／各学校・園(PTAなどが用意した場所)

##### ●申し込み方法

- ・香川県PTA連絡協議会事務局 ☎087(831)3802まで
- ・同協議会ホームページ <http://www.niji.or.jp/home/kagawapta/main> から提出書類をダウンロードし、FAX087(831)3807にて送信

同様のワークショップは全国で推進されていますが、県内では他県に比べて圧倒的に多い100回以上も開かれています。「専門員さんが研究熱心で、私もテーマやワークシートの相談を幾度となく受けています」と清國教授。県教委の積極的な推進はもちろん、参加者に届くワークショップを目指していることが理由の一つだといえそ

PTAとの連携が強固なのも香川県の特徴。清國教授は「家庭教育は各家庭が孤立して行うものではなく、家庭と地域、PTAがお互いに支え合うことで初めて実現します。その基盤づくりとして、保護者が積極的にワークショップに参加してほしい」と話しています。